市民ワークショップの概要

1 開催概要（詳細は資料2 かわら版を参照）

【位置づけ】

公共施設再配置方針を策定するに当たり、「地域の声」をしっかりと把握するための有効な方法として開催しました。

【目標】

グループでの議論を積み上げ、「公共施設を活用した地域の課題解決のアイデア」を地域住民から提案することを目標としました。

回数	区分	参加者数	内容
第1回	全体会	50名	公共施設のマネジメントの難しさをゲームを通して体験、市の財政状況等の講演
第2回	地域会 (5地区)	49名	参加者の行動分析、地域課題の抽出
第3回	地域会 (5地区)	49名	地域にとっての優先順位・アイデア検討 ポスター作成
第4回	全体会	44名	発表会、ポスターセッション (イオンタウンユーカリが丘で開催)

※第4回のかかわら版は作成中

2 成果（詳細は資料3 ポスターを参照）

市内5地区、11グループに分けて各グループでアイデア提案のポスターを作成しました。

財政課題があることを前提に活発な意見交換が行われ、参加者同士のコミュニケーションが十分に図られただけでなく、公共施設に対する意識の向上につながりました。

「多世代交流」「既存施設の有効活用」「コミュニケーションの拠点」などが公共施設に求められる機能として多くのグループで共通して挙げられています。

3 公共施設再配置方針への反映方針

共通する考え方を本編で取り入れるほか、結果報告書を資料編に掲載します。

このワークショップで出てきたアイデアは、すぐに現実的な施設に直結するものではないと説明しており、方針上で個別の施設について具体的に記載する予定はありませんが、今後各施設の検討を進める上での参考としていきます。